

ヒメシャラ

[木本] 《忌避》



樹皮は淡赤褐色で目立つ。



花の直径は約4cm。



基部はくさび形、先端は長く尖る。

区別のポイント

樹皮は平滑で淡赤褐色で目立つ。斑にはがれ落ちる。

形態 落葉高木。

分布 本州（神奈川県箱根以南）・四国・九州

名前の由来 小さいシャラ（ナツツバキ）のこと。

葉 〈全体〉長楕円形、長さ5～8cm。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉長さ7から15mm。

〈基部〉くさび形。

〈葉先〉鋭尖頭。

〈縁〉浅い鋸歯。

備考 1では好きとされたが、屋久島では嫌いと思われる。一方で、四国の三本杭等各地で、激しい樹皮の剥離が起こっている。他では花も食べるとの報告あり。

出典 1, 4, 19, ※